

新規に採用された医薬安全に配慮した薬剤					新規採用以前の薬剤							
商品名	規格	メーカー名	薬価	導入年月	新規採用以後の年間総購入額(円)	変更直後の月平均使用量(箱)	商品名	規格	メーカー名	薬価	新規採用以前の年間総購入額(円)	変更直前の月平均使用量(箱)
バセトール静注用1g/バッグS	1g1キット (生理食塩液 100mL付)	ニプロファーマ	877.00	年								
バルクス注ディスプレイ10μg	10μg2mL 1箇	大正製薬	6,072.00	年								
バレセーフ点滴静注用	500mL1 キット	味の素	950.00	年								
ハロスミンSキット2g	2g1キット (注射用水1 00mL付)	マルコ製薬	940.00	年								
ハンスポリン静注用1g/バッグG	1g1キット (5%ブドウ 糖注射液10 0mL付)	武田薬品	1,560.00	年								
ハンスポリン静注用1g/バッグS	1g1キット (生理食塩液 100mL付)	武田薬品	1,522.00	年								
ヒアロス	1%2.5mL 1箇	マルホ	765.00	年								
ヒアロス調節注25mg	1%2.5mL 1箇	マルホ	765.00	年								
ヒアロナ	1%2.5mL 1箇	扶桑薬品	688.00	年								
ピーエヌツイン-1号	1キット	味の素	995.00	年								
ピーエヌツイン-2号	1キット	味の素	1,120.00	年								
ピーエヌツイン-3号	1キット	味の素	1,291.00	年								
ピーフリード点滴静注用	1L1キット	大塚製薬工場	835.00	年								
ピーフリード点滴静注用	500mL1 キット	大塚製薬工場	602.00	年								
ヒカミロンディスプレイ	1%2.5mL 1箇	鶴岡製薬	1,424.00	年								
ピタジェク	2箇1キット	テルモ	332.00	年								
ピタジェク注キット	2箇1キット	テルモ	332.00	年								
ヒュースレンディスプレイ	1%2.5mL 1箇	東和薬品	731.00	年								
ヒルネート調節注シリンジ25mg	1%2.5mL 1箇	ニプロファーマ	746.00	年								
ファーストン静注用1g/バッグG	1g1キット (5%ブドウ 糖注射液10 0mL付)	武田薬品	2,319.00	年								
ファーストン静注用1g/バッグS	1g1キット (生理食塩液 100mL付)	武田薬品	2,232.00	年								
フィンザルツPL-D	100mL1 キット	扶桑薬品	193.00	年								

新規に採用された医療安全に配慮した薬剤				安全薬剤への変更前に従来使用していた薬剤				
商品名	規格	メーカー名	薬価	導入年月	新規採用以後の年間総購入額(円)	変更直後の月平均使用量(箱)	新規採用以前の年間総購入額(円)	変更直前の月平均使用量(箱)
ファイバックスキット点滴用0.25g	250mg1 キット(生理 食塩液100 mL付)	塩野義製薬	1,737.00	年 月				
ブドウ糖注20%シリンジ「テ ルモ」	20%20mL 1筒	テルモ	141.00	年 月				
ブドウ糖注20%シリンジ「テ ルモ」	20%20mL 1筒	テルモ	141.00	年 月				
ブドウ糖注50%シリンジ「テ ルモ」	50%20mL 1筒	テルモ	141.00	年 月				
ブドウ糖注50%シリンジ「テ ルモ」	50%20mL 1筒	テルモ	141.00	年 月				
ブリーラディスプレイ	1%2.5mL 1筒	高田製薬	688.00	年 月				
プリンク注シリンジ10μg	10μg2mL 1筒	大洋薬品	2,897.00	年 月				
プリンク注シリンジ5μg	5μg1mL1 筒	大洋薬品	2,359.00	年 月				
フルカリック1号	1806mL1 キット	テルモ	2,165.00	年 月				
フルカリック1号	903mL1 キット	テルモ	1,336.00	年 月				
フルカリック1号輸液	1806mL1 キット	テルモ	2,185.00	年 月				
フルカリック1号輸液	903mL1 キット	テルモ	1,336.00	年 月				
フルカリック2号	1003mL1 キット	テルモ	1,422.00	年 月				
フルカリック2号	2006mL1 キット	テルモ	2,353.00	年 月				
フルカリック2号輸液	1003mL1 キット	テルモ	1,422.00	年 月				
フルカリック2号輸液	2006mL1 キット	テルモ	2,353.00	年 月				
フルカリック3号	1103mL1 キット	テルモ	1,609.00	年 月				
フルカリック3号輸液	1103mL1 キット	テルモ	1,609.00	年 月				
フルチカシンキット筋注25mg	25mg1mL 1筒	田辺三菱	1,893.00	年 月				
フルマリソルキット静注用1g	1g1キット (生理食塩液 100mL付)	塩野義製薬	2,137.00	年 月				
フレドバ注200	0.1%200 mL1袋	マイラン製薬	982.00	年 月				

新規に採用された医療安全に配慮した薬剤				安全薬種への変更前に従来使用していた薬剤				
商品名	規格	メーカー名	薬価	納入年月	新規採用以後の年間総購入額(円)	変更直後の月平均使用量(箱)	新規採用以前の年間総購入額(円)	変更直前の月平均使用量(箱)
ブレドバ注600	0.3%200mL1袋	マイラン製薬	1,497.00	年				
プレベノン1%注シリンジ	1%10mL1筒	テルモ	2,925.00	年				
プレベノン1%注シリンジ	1%5mL1筒	テルモ	1,525.00	年				
プレベノン注100mgシリンジ	1%10mL1筒	テルモ	2,925.00	年				
プレベノン注50mgシリンジ	1%5mL1筒	テルモ	1,525.00	年				
プロスコープ300シリンジ	62.34%100mL1筒	田辺三菱	13,510.00	年				
プロスコープ300注シリンジ100mL	62.34%100mL1筒	田辺三菱	13,510.00	年				
プロスコープ300注シリンジ50mL	62.34%50mL1筒	田辺三菱	7,258.00	年				
プロスコープ300注シリンジ80mL	62.34%80mL1筒	田辺三菱	10,826.00	年				
プロハンスシリンジ	13mL1筒	ブラッコ・エーザイ	10,818.00	年				
プロハンスシリンジ	17mL1筒	ブラッコ・エーザイ	13,824.00	年				
ヘパソルト透析用250単位/mLシリンジ20mL	5,000単位20mL1筒	大塚製薬工場	342.00	年				
ヘパソルトNa500単位/mLシリンジ1NP	10,000単位20mL1筒	ニプロファーマ	518.00	年				
ヘパソルトNa500単位/mLシリンジ1NP	5,000単位10mL1筒	ニプロファーマ	390.00	年				
ヘパソルトNaロック100シリンジ	1,000単位10mL1筒	田辺三菱	251.00	年				
ヘパソルトNaロック100シリンジ	500単位5mL1筒	田辺三菱	227.00	年				
ヘパソルトNaロック10シリンジ	100単位10mL1筒	田辺三菱	208.00	年				
ヘパソルトNaロック10シリンジ	50単位5mL1筒	田辺三菱	208.00	年				
ヘパソルトNaロック用100単位/mLシリンジ10mL1筒	1,000単位10mL1筒	大塚製薬工場	199.00	年				
ヘパソルトNaロック用100単位/mLシリンジ10mL1筒	500単位5mL1筒	大塚製薬工場	175.00	年				
ヘパソルトNaロック用100単位/mLシリンジ10mL1筒	100単位10mL1筒	大塚製薬工場	152.00	年				
ヘパソルトNaロック用100単位/mLシリンジ10mL1筒	50単位5mL1筒	大塚製薬工場	147.00	年				
ヘパソルトNa透析用150単位/mLシリンジ20mL1筒	3,000単位20mL1筒	大洋薬品	315.00	年				

新規に採用された医療安全に配慮した薬剤				安全薬剤への変更前に従来使用していた薬剤				
商品名	規格	メーカー名	薬価	導入年月	新採用以後の年間総購入額(円)	変更直後の月平均使用量(箱)	新採用以前の年間総購入額(円)	変更直前の月平均使用量(箱)
ヘパリンNa透折用150単位/mLシリンジ20mL「フナー」	3,000単位 20mL1筒	扶桑薬品	316.00	年				
ヘパリンNa透折用200単位/mLシリンジ20mL「ATJ」	4,000単位 20mL1筒	大洋薬品	348.00	年				
ヘパリンNa透折用200単位/mLシリンジ20mL「フナー」	4,000単位 20mL1筒	扶桑薬品	351.00	年				
ヘパリンNa透折用250単位/mLシリンジ20mL「ATJ」	5,000単位 20mL1筒	大洋薬品	380.00	年				
ヘパリンNa透折用250単位/mLシリンジ20mL「フナー」	5,000単位 20mL1筒	扶桑薬品	384.00	年				
ヘパリンNa透折用300単位/mLシリンジ10mL「ATJ」	3,000単位 10mL1筒	大洋薬品	309.00	年				
ヘパリンNa透折用400単位/mLシリンジ10mL「ATJ」	4,000単位 10mL1筒	大洋薬品	343.00	年				
ヘパリンNa透折用500単位/mLシリンジ10mL「ATJ」	5,000単位 10mL1筒	大洋薬品	375.00	年				
ペラプリン注シリンジ10mg1筒	10mg2mL 1筒	大洋薬品	176.00	年				
ペランコシン注シリンジ600mg	600mg2mL1筒	大洋薬品	208.00	年				
ペントシリン静注用1g/バッグ	1g1キット (生理食塩液 100mL付)	富山化学	964.00	年				
ペントシリン静注用2g/バッグ	2g1キット (生理食塩液 100mL付)	富山化学	1,326.00	年				
ホスピロロデイスボ	1%2.5mL 1筒	マルコ製薬	784.00	年				
ホスミンSキット2g	2g1キット (注射用水1 00mL付)	明治製菓	1,381.00	年				
ホスミンS/バッグ1g点滴静注用	1g1キット (5%ブドウ 糖注射液10 0mL付)	明治製菓	1,100.00	年				
ホスミンS/バッグ2g点滴静注用	2g1キット (5%ブドウ 糖注射液10 0mL付)	明治製菓	1,410.00	年				
マイオビュー注シリンジ	296MBq1 筒	日本メジファイジック クス	23,571.00	年				
マイオビュー注シリンジ	592MBq1 筒	日本メジファイジック クス	43,404.00	年				
マイオビュー注シリンジ	740MBq1 筒	日本メジファイジック クス	48,225.00	年				

新規に採用された医薬安全に配慮した薬剤				安全薬剤への変更前に従来使用していた薬剤								
商品名	規格	メーカー名	薬価	導入年月	新規採用以後の年間総購入額(円)	変更直後の月平均使用量(箱)	商品名	規格	メーカー名	薬価	新規採用以前の年間総購入額(円)	変更直前の月平均使用量(箱)
マキシブーム点滴静注用バッグ1g	1g1キット(生理食塩液100mL付)	プリストル・マイヤーズ	1,780.00	年								
マグネスコープシリンジ	37.695% 10mL1筒	ゲルベ・ジャパン	6.981.00	年								
マグネスコープシリンジ	37.695% 15mL1筒	ゲルベ・ジャパン	9,643.00	年								
マグネスコープシリンジ	37.695% 20mL1筒	ゲルベ・ジャパン	12,499.00	年								
マグネビストシリンジ	37.14% 0mL1筒	バイエル薬品	9,070.00	年								
マグネビストシリンジ	37.14% 5mL1筒	バイエル薬品	12,506.00	年								
マグネビストシリンジ	37.14% 0mL1筒	バイエル薬品	16,271.00	年								
マグネビストシリンジ	37.14% mL1筒	バイエル薬品	5,067.00	年								
ミキシッド-H	900mL1 キット	大塚製薬工場	1,831.00	年								
ミキシッド-L	900mL1 キット	大塚製薬工場	1,748.00	年								
ミクロフィン注シリンジ250mg	250mg10 mL1筒	大洋薬品	209.00	年								
ミネリン注シリンジ	2mL1筒	日本製薬	388.00	年								
ミネリック-4注シリンジ	2mL1筒	ニプロファーマ	234.00	年								
ミネリック-5注シリンジ	2mL1筒	ニプロファーマ	334.00	年								
ミノイツ注20mLシリンジ	20mL1筒	テルモ	211.00	年								
ミノイツ注40mLシリンジ	40mL1筒	テルモ	309.00	年								
ミルリーラK注射液2.5mg	22.5mg15 0mL1筒	アステラス製薬	14,866.00	年								
ミルリオン注2.5mgバッグ(タカオ)	22.5mg15 0mL1筒	高田製薬	10,694.00	年								
ミルリオン注シリンジ10mg「HK」	10mg10m L1筒	光製薬	5,734.00	年								
メドレック注シリンジ	2mL1筒	大洋薬品	292.00	年								
メロベン点滴用0.5g	500mg1 キット(生理食塩液100mL付)	大日本住友製薬	2,234.00	年								
モイオバク300シリンジ	64.71% 00mL1筒	興和	6,344.00	年								
モイオバミン300シリンジ	61.24% 00mL1筒	光製薬	5,438.00	年								
モイオバミン300シリンジ	61.24% 5 0mL1筒	光製薬	3,759.00	年								

新薬に採用された医薬安全に配慮した薬剤				安全薬剤への変更前に従来使用していた薬剤								
商品名	規格	メーカー名	薬価	導入年月	新規採用以後の年間総購入額(円)	変更直後の月平均使用量(箱)	商品名	規格	メーカー名	薬価	新規採用以前の年間総購入額(円)	変更直前の月平均使用量(箱)
モイオバミン370シリンジ	75.52%100mL1箇	光製薬	7,750.00	年								
モイオバミン370シリンジ	75.52%50mL1箇	光製薬	4,239.00	年								
ユナシン-Sキット静注用1.5g	(1.5g)1キット(生理食塩液100mL付)	ファイザー	1,870.00	年								
ユナシン-Sキット静注用3g	(3g)1キット(生理食塩液100mL付)	ファイザー	2,243.00	年								
ユニカリツクL	1L1袋	テルモ	1,007.00	年								
ユニカリツクL	2L1袋	テルモ	1,696.00	年								
ユニカリツクL輸液	1L1袋	テルモ	1,007.00	年								
ユニカリツクL輸液	2L1袋	テルモ	1,696.00	年								
ユニカリツクN	1L1袋	テルモ	1,086.00	年								
ユニカリツクN	2L1袋	テルモ	1,873.00	年								
ユニカリツクN輸液	1L1袋	テルモ	1,086.00	年								
ユニカリツクN輸液	2L1袋	テルモ	1,873.00	年								
ユニヒロン・ディスプレイ	1%2.5mL1箇	宇治製薬	584.00	年								
ラジストン注射液シリンジ10mg	10mg10mL1箇	大洋薬品	519.00	年								
ラスカルトン10ディスプレイ	10エルカトン単位1mL1箇	大洋薬品	446.00	年								
ラニチジン注100mgシリンジ「NP」	100mg4mL1箇	ニプロファーマ	350.00	年								
ラニチジン注100mgシリンジ「タイヨ」	100mg4mL1箇	大洋薬品	345.00	年								
ラニチジン注50mgシリンジ「NP」	50mg2mL1箇	ニプロファーマ	246.00	年								
ラニチジン注50mgシリンジ「タイヨ」	50mg2mL1箇	大洋薬品	240.00	年								
リドカイン静注用2%シリンジ「テルモ」	2%5mL1箇	テルモ	184.00	年								
リプルキット注10μg	10μg2mL1箇	田辺三菱	6,672.00	年								
リュウブリンSR注射用キット1.1.25	11.25mg1箇	武田薬品	91,680.00	年								
リュウブリン注射用キット1.8	1.88mg1箇	武田薬品	36,326.00	年								
リュウブリン注射用キット3.7	3.75mg1箇	武田薬品	51,241.00	年								
リン酸2カリウム注20mEqキット「テルモ」	0.5mL20mL1キット	テルモ	217.00	年								

新規に採用された医療安全に配慮した薬剤				安全薬剤への変更前に従来使用していた薬剤				
商品名	規格	メーカー名	薬価	導入年月	新規採用以後の年間総購入額(円)	変更直後の月平均使用量(箱)	新規採用以前の年間総購入額(円)	変更直前の月平均使用量(箱)
リン酸2カリウム注20mEqシリンジ「テルモ」	0.5モル/20mL1筒	テルモ	146.00	年				
ルミステロンディスプレイ	1%2.5mL1筒	日新製薬-山形	746.00	年				
ローヘバ注100単位/mLシリンジ20mL	2,000低分子ヘパリン国際単位20mL1筒	味の素	933.00	年				
ローヘバ注150単位/mLシリンジ20mL	3,000低分子ヘパリン国際単位20mL1筒	味の素	1,205.00	年				
ローヘバ注200単位/mLシリンジ20mL	4,000低分子ヘパリン国際単位20mL1筒	味の素	1,454.00	年				
ロゼクラートキット点滴静注用1g	1g1キット(生理食塩液100mL付)	大洋薬品	1,175.00	年				
ロセフィン点滴静注用1gパック	1g1キット(生理食塩液100mL付)	中外製薬	1,473.00	年				
塩化カルシウム注20mEqシリンジ「テルモ」	0.5モル/20mL1筒	テルモ	182.00	年				
塩化ナトリウム注10%シリンジ「テルモ」	10%20mL1筒	テルモ	145.00	年				
塩化ナトリウム注1モルシリンジ「テルモ」	1モル/20mL1筒	テルモ	143.00	年				
塩酸B1注10mgシリンジ「P」	10mg1mL1筒	ニプロファーマ	205.00	年				
塩酸ドバミン注キット200	0.1%200mL1瓶	アイロム	386.00	年				
塩酸ドバミン注キット600	0.3%200mL1瓶	アイロム	722.00	年				
塩酸バンコマイシン点滴静注用キット0.5g	0.5g1キット(生理食塩液100mL付)	日本イーライリリー	4,131.00	年				
塩酸メピバカイン注シリンジ0.5%(NP)	0.5%10mL1筒	ニプロファーマ	240.00	年				
塩酸メピバカイン注シリンジ1%(NP)	1%10mL1筒	ニプロファーマ	244.00	年				
塩酸メピバカイン注シリンジ2%(NP)	2%10mL1筒	ニプロファーマ	314.00	年				
生食注「SN」シリンジ	10mL1筒	シオノケミカル	188.00	年				
生食注「SN」シリンジ	20mL1筒	シオノケミカル	188.00	年				
生食注「SN」シリンジ	5mL1筒	シオノケミカル	188.00	年				

新規に採用された医薬品に配慮した薬剤				安全薬剤への変更前に従来使用していた薬剤			
商品名	規格	メーカー名	薬価	導入年月	新規採用以後の年間総購入額(円)	変更直後の月平均使用量(箱)	新規採用以前の年間総購入額(円)
生食注キットSN	100mL1 キット	シオノケミカル	175.00	年			
生食注シリンジ[NP]	10mL1箇	ニプロファーマ	194.00	年			
生食注シリンジ[NP]	20mL1箇	ニプロファーマ	196.00	年			
生食注シリンジ[オートツカ]5 mL1箇	5mL1箇	大塚製薬工場	142.00	年			
生食注シリンジ[タイヨ]	10mL1箇	大塚製薬工場	178.00	年			
生食注シリンジ[タイヨ]	20mL1箇	大塚製薬工場	178.00	年			
生食注シリンジ[タイヨ]	5mL1箇	大塚製薬工場	178.00	年			
生食溶解液キットH	100mL1 キット	ニプロファーマ	223.00	年			
生食溶解液キットH	50mL1キッ ト	ニプロファーマ	223.00	年			
静注用セフメゾールナトリウ ム[ヒシヤマ]---キット型	1g1キット (生理食塩液 100mL付)	ニプロファーマ	785.00	年			
静注用セフメゾールナトリウ ム[ヒシヤマ]---キット型	2g1キット (生理食塩液 100mL付)	ニプロファーマ	1,190.00	年			
静注用フラゼミシンS---キッ ト型	2g1キット (注射用水1 00mL付)	大塚製薬工場	1,001.00	年			
大塚生食注2ポート	100mL1 キット	大塚製薬工場	259.00	年			
大塚生食注TN	100mL1 キット	大塚製薬工場	214.00	年			
大塚生食注TN	50mL1キッ ト	大塚製薬工場	214.00	年			
大塚糖液5%2ポート	5%100mL 1キット	大塚製薬工場	281.00	年			
大塚糖液5%TN	5%100mL 1キット	大塚製薬工場	224.00	年			
大塚糖液5%TN	5%50mL1 キット	大塚製薬工場	236.00	年			
注用ワイスターール1g/バッグS	(1g)1キット (生理食塩液 100mL付)	ニプロファーマ	914.00	年			
注用ワイスターールキット1g	(1g)1キット (生理食塩液 100mL付)	ニプロファーマ	914.00	年			
沈降精製百日せきジフテリア 破傷風混合ワクチン	0.5mL1瓶	デンカ生研	0.00	年			
沈降精製百日せきジフテリア 破傷風混合ワクチン[S北研]	0.5mL1箇	北里研究所	0.00	年			

新規に採用された医薬品に配慮安全に配慮した薬剤										安全薬剤への変更前に従来使用していた薬剤				
商品名	規格	メーカー名	薬価	導入年月	新規採用以後の年間総購入額(円)	変更直後の月平均使用量(箱)	商品名	規格	メーカー名	薬価	新規採用以前の年間総購入額(円)	変更直前の月平均使用量(箱)		
沈降精製百日せきジフテリア 破傷風混合ワクチンキット「タ ケダ」	0.5mL1筒	武田薬品	0.00	年 月										
沈降破傷風トキソイド「S北 研」シリンジ	0.5mL1筒	北里研究所	528.00	年 月										
沈降破傷風トキソイドキット 「タケダ」	0.5mL1筒	武田薬品	602.00	年 月										
点滴静注用アシクリルバグ 250mg/100mL	250mg100 mL1袋	アイロム	1,354.00	年 月										
点滴静注用トミールキット 破傷マグネシウム注20mEq シリンジ「テルモ」	250mg1瓶 0.5モル20 mL1筒	田辺三菱 テルモ	2,017.00 183.00	年 月										

商品名	規格	メーカー名	薬価	納入年月	新規採用以後の 年間総購入額 (円)		安全薬剤への変更前に従来使用していた薬剤		変更直前の月平均使用量(箱)
					変更直後の月平均使用量(箱)	年間総購入額(円)	規格	メーカー名	
カニトリックシ型									
グロウジェクトBC8mg	8mg1筒(溶解液付)	日本ケミカルリサーチ	85,771.00	年					
ジェノロビン5.3mg	5.33mg1筒(溶解液付)	ファイザー	54,779.00	年					
ジェノロビン注射用12mg	12mg1筒(溶解液付)	ファイザー	136,679.00	年					
ノボラピット30ミックス注	300単位1筒	ノボ・ノルデイス クファーマ	1,679.00	年					
ノボラピット注300	300単位1筒	ノボ・ノルデイス クファーマ	1,673.00	年					
ノルデイトロビン ノルデア レックス注10mg	15mg1キット	ノボ・ノルデイス クファーマ	112,835.00	年					
ノルデイトロビン ノルデア レックス注15mg	10mg1キット	ノボ・ノルデイス クファーマ	163,651.00	年					
ノルデイトロビン ノルデア レックス注5mg	5mg1キット	ノボ・ノルデイス クファーマ	57,802.00	年					
ノルデイトロビンS注10mg	10mg1筒	ノボ・ノルデイス クファーマ	107,053.00	年					
ノルデイトロビンS注5mg	5mg1筒	ノボ・ノルデイス クファーマ	51,981.00	年					
ヒューマカート3/7注	300単位1筒	日本イーライリリー	1,593.00	年					
ヒューマカートN注	300単位1筒	日本イーライリリー	1,593.00	年					
ヒューマカートR注	300単位1筒	日本イーライリリー	1,601.00	年					
ヒューマトロブC12mg	12mg1筒(溶解液付)	日本イーライリリー	125,715.00	年					
ヒューマトロブC6mg	6mg1筒(溶解液付)	日本イーライリリー	63,929.00	年					
ヒューマログN注カート	300単位1筒	日本イーライリリー	1,655.00	年					
ヒューマログミックS25注カート	300単位1筒	日本イーライリリー	1,665.00	年					
ヒューマログミックS50注カート	300単位1筒	日本イーライリリー	1,662.00	年					
ヒューマログ注カート	300単位1筒	日本イーライリリー	1,656.00	年					
ペンフィル10R注300	300単位1筒	ノボ・ノルデイス クファーマ	1,608.00	年					
ペンフィル20R注300	300単位1筒	ノボ・ノルデイス クファーマ	1,607.00	年					
ペンフィル30R注300	300単位1筒	ノボ・ノルデイス クファーマ	1,611.00	年					

商品名	規格	メーカー名	薬価	導入年月	新規採用以後の		安全薬剤への変更前に従来使用していた薬剤	
					年間総購入額 (円)	変更直後の月平均 均使用量(箱)	新規採用以前の 年間総購入額 (円)	変更直前の月平均 均使用量(箱)
ペンフィル40R注300	300単位1箇	ノボ・ノルティス クファーマ	1,609.00	年 月				
ペンフィル50R注300	300単位1箇	ノボ・ノルティス クファーマ	1,606.00	年 月				
ランタス注オプテック300	300単位1箇	サノイ・アベン ティス	1,841.00	年 月				
ランタス注カート300	300単位1箇	サノイ・アベン ティス	1,844.00	年 月				

表40 職業感染予防のためのコスト

	検査コスト /回(円)	延べ検査 回数(回)	病院の負 担率(%)	ワクチン コスト/回 (円)	延べ投与 回数(回)	病院の負 担率(%)	年間使用量 (箱)
B型肝炎ワクチン	()	()	()	()	()	()	()
インフルエンザワクチン	()	()	()	()	()	()	()
麻疹ワクチン	()	()	()	()	()	()	()
ムンプスワクチン	()	()	()	()	()	()	()
風疹ワクチン	()	()	()	()	()	()	()
水痘ワクチン	()	()	()	()	()	()	()
結核ワクチン(BCG)	()	()	()	()	()	()	()

表41 被保険者となって負担した賠償責任保険の保険料に要するコスト

①法人分の保険料の支払実績額(円)	()
②医師個人の賠償責任保険に対する法人の負担額(円)	()

表42 感染性医療廃棄物の処理状況[平成18年9月30日現在]

a. 外部委託している	()
b. 院内で処理している	()

表43 産業廃棄物処理にかかる外部委託コストの内訳

産業廃棄物にかかる委託コストの内訳	外部委託にかかる支払実績額(単位:円)
通常の産業廃棄物処理の外部委託分	()
感染性医療廃棄物処理の外部委託分	()
合 計	()

表44 感染性医療廃棄物処理のために特別に設置した機器や設備

感染性医療廃棄物処理のための機器・設備	購入金額(円)	年間使用数量(台)
①	()	()
②	()	()
③	()	()
④	()	()
⑤	()	()

表45 医療安全活動にかかる施設内での専有スペースの使用コスト

病院の建物全体の床面積 [単位:m ²]	()
病院の建物全体にかかる年間減価償却費 [単位:円]	()
専有スペースの使用目的(場所)	専有床面積[単
①	()
②	()
③	()
④	()
⑤	()

表46 「窓口相談業務の主な担当者」の個別勤務実態 [単位:%]

担当者各人の 職種名	担当者各人の主な職務内容	「窓口相談業務の主な担当者の1ヶ月の全就業時間」			合計(%)
		窓口相談活動が 占める割合	窓口相談業務に就いている時間 苦情処理活動が 活動が占める割合	窓口相談業務以外の業 務に就いている時間	
①		()	()	()	100
②		()	()	()	100
③		()	()	()	100
④		()	()	()	100
⑤		()	()	()	100
⑥		()	()	()	100
⑦		()	()	()	100
⑧		()	()	()	100
⑨		()	()	()	100
⑩		()	()	()	100
⑪		()	()	()	100
⑫		()	()	()	100
⑬		()	()	()	100
⑭		()	()	()	100
⑮		()	()	()	100
⑯		()	()	()	100
⑰		()	()	()	100
⑱		()	()	()	100
⑳		()	()	()	100

表47 貴院における平成18年度の医療管理指標

医 事 統 計	
平均在院日数 [単位:日]	()
年間入院延べ患者数 [単位:人]	()
(=年間在院延べ患者数+年間退院患者数)	()
年間外来延べ患者数 [単位:人]	()
財 務 指 標 [単位:円]	
総収益 (=医業収益+医業外収益+臨時収益)	()
総費用 (=医業費用+医業外費用+臨時費用)	()
医業収益	()
医業費用	()
給与費 (=給料+賞与+賞与引当金繰入額+退職給付費用+法定福利費)	()
入院診療収益	()
外来診療収益	()
材料費	()
医薬品費 (材料費の内訳科目)	()
診療材料費 (材料費の内訳科目)	()
医療消耗器具備品費 (材料費の内訳科目)	()

以上、ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

認定病院患者安全推進協議会 医療安全確保のためのコストに関する検討会
「医療安全確保のためのコストに関する調査」記載要領

全般的な留意事項

1. 調査の目的：

本調査の目的は、病院が医療安全の確保のために、どのような項目に対し、どの程度事前にコストを投入することが妥当であるのかについて検討を加えるため、その基礎調査として、わが国の病院における医療安全確保のためのコスト（医療安全コスト）の現状を把握することにあります。

2. 調査の対象：

本調査は、平成18年度（2006年度；平成18年4月1日～平成19年3月31日）における状況を対象としており、特にIの病院基本情報にかかる病床数および職員数については、平成18年9月30日時点でのデータを調査対象としています。

3. 本調査において、医師、看護職員、医療技術員、技術労務員・労務員、福祉系職員の各用語については、それぞれ次の職種を包含した総称です。

- ・ 医師 … 医師、歯科医師
- ・ 看護職員 … 保健師、助産師、看護師、准看護師
- ・ 医療技術員 … 診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、栄養士、理学療法士、作業療法士、歯科技工士など医療に関わる専門技術員
- ・ 技術労務員・労務員 … 技術補助員、電話交換手、気かん士、調理師、調理員など
- ・ 福祉系職員 … 介護福祉士、ケアマネージャー（介護支援専門員）等の福祉職、医療社会事業専門員（MSW、医療ソーシャルワーカー）、臨床心理士

ご記入に際してのお願い

1. 病院基本情報について

(1) 問3については、常勤以外の職員は、職種別平均実働日数を用いて常勤人数にご換算ください。

(2) 問3の「その他の職員」には、看護補助職員、技能労務員・労務員、福祉系職員が該当します。（*「その他の職員」の構成については、以下、同じです。）

2. 医療安全確保のための費目について

■ 施設全般の医療安全確保のための活動に要する人件費

- (1) ②の「医療安全活動を担っている主たる職員」とは、その所属や肩書きに関わりなく、施設において各部門レベルのリスク・マネージャーを指導しながら、特定の部門ではなく施設全般にかかる医療安全管理のための組織横断的な活動を「実質的」に行う職員を指します。

《「医療安全活動を担っている主たる職員」の該当事例》

- i) 統括リスク・マネージャーとして、医療安全管理室長を兼務している副院長
- ii) 医療安全管理室に所属しており、各部門のリスク・マネージャーへの指導など、医療安全管理室長に代わって、実質的に施設全般にかかる医療安全活動の推進を行っている職員
- iii) 医療安全管理室に所属しており、医療安全管理室長を補佐しつつ、実際に施設全般にかかる医療安全活動の推進を担っている職員
- iv) 医療安全管理室には所属していないが、他の本体業務に従事しつつ、実質的に施設全般にかかる医療安全活動の推進を行っている職員
 ⇒ 例) NST (栄養サポートチーム) 活動に兼任スタッフとして参加している、医師、薬剤師、看護師、管理栄養士、臨床検査技師など
- v) 第5次改正医療法によって、すべての医療期間に配置を義務付けられた「医薬品安全管理責任者」および「医療機器安全管理責任者」

- (2) ②において、表5の「医療安全活動を担っている主たる職員」の全就業時間に占める各活動の割合(%)については、10%刻みでおよその数値をご記入ください。

- (3) 表5の記載例(担当者が医師2名、看護師1名、事務職員1名のケース)

担当者各人の職種名		医療安全管理 [A]	院内感染管理 [B]	(略)	非・医療安全活動の割合(例: 本体業務) [G]	合計 (%)
①	医師	30	20		40	100
②	医師	30	20		50	100
③	看護師	40	30		10	100
④	事務職員	30	10		20	100
⑤						

(4) ②において、表5の「患者・職員からの苦情処理 [F]」活動の内容については、直接相手と対応した場合のみならず、WEB上の掲示板やメールへの返信、苦情電話への対応、意見箱への投書に対する返信などの対応も含まれます。

(5) ③において、ここでいう医療安全管理にかかる職場横断的な会議とは、施設全般にかかる安全管理推進のために定期的、または非定期的に開催される会議のことを指します。

具体的な例示を挙げれば、病院全体の安全管理のための活動を推進する「医療安全管理委員会」と、その並列組織あるいは下部組織として位置付けられる、各部門のリスク・マネージャーが毎月集まり、情報交換や検討を行う「リスクマネジメント部会」や、職場横断的に医療事故の予防策を具体的に検討する各種のワーキンググループ(WG)がこれに該当します。

また、医療事故発生時に緊急的に組織される「医療事故防止対策委員会」についてもこれに含めてください。

加えて、医療安全管理委員会以外の、他の委員会の下部組織として開かれている、医療安全に関連する各種会議についてもこれに含めてください。

表6には、各種委員会等に相当する会議への職種別の1回あたり平均参加人数等をご記入ください。

(6) 表6の1回あたり平均開催時間、および1回あたり平均参加人数については、およそその数値で結構です。(以下、表7～表15まで同じ)

(7) ③で表6の「参加職種名」に記載されない職種が該当した場合には、表中の空欄に直接ご記入ください。(以下、表7～表11まで同じ)

(8) ④において、ここでいう感染管理にかかる職場横断的な会議とは、施設全般の感染管理推進のために各部門の兼任スタッフによって構成される、感染対策にかかる病院長の諮問機関である「院内感染防止対策委員会 (ICC)」と、その実行組織である「院内感染対策チーム (ICT)」が該当します。

また、病院によっては、ICCの並列組織あるいは下部組織として位置付けられる、職場横断的に院内感染管理の予防策を具体的に検討する各種のワーキンググループ(WG)についてもこれに含め、さらに関連する勉強会についても当該会議に含めてください。

加えて、ICC以外の、他の委員会の下部組織として開かれている、感染管理に関連する各種会議についてもこれに含めてください。

表7には、各種委員会等に相当する会議への職種別の1回あたりの平均参加人数を

ご記入ください。

■ 医療安全確保のための研修費用

《院内研修》

(9) ①の「平成 18 年度の外部招聘講師への謝金、交通費、宿泊費等の費用」は、当該年度におけるそれぞれの費目の合計額をご記入ください。

(10) 表 20 の「その他 1」、「その他 2」および「その他 3」については、左記に列挙した職種に該当しない職種が院内研修に参加した場合、当該職種名をそれぞれの下の空欄にご記入ください。

《院外研修》

(11) ④の「年間延べ参加人数」とは、平成 18 年度における全職員の外部研修への参加人数を単純に合算したものであり、例えば、同一の院外研修会に 1 人で複数回参加していた場合でも、それらは別個の職員が参加したものとしてカウントしてください。

(12) 表 21 の「その他 1」、「その他 2」および「その他 3」については、(12)と同様、左記に列挙した職種に該当しない職種が院外研修に参加した場合、当該職種名をそれぞれの下の空欄にご記入ください。

■ 院内感染対策を含む、医療安全管理活動全般への貢献が期待できる器材、設備・機器、薬剤に要するコスト

《医療安全に配慮した器材にかかるコスト》

(13) ①の表 23～表 34 において、医療器材の月平均使用数量の記入については、箱単位あるいはバルク単位でご記入ください。

また、上記の数量記入の際には、事務部門の施設/用度係などの専門の担当者（あるいは中央材料部などの該当部門）にご確認ください。

(14) ①の表 23～表 34 において、医療器材の年間総購入額の記入を行う場合は、「定価×数量」という定価ベースでご算出ください。

(15) なお、新たに採用した安全器材で、従前の使用器材等については記入するものがない場合は、記入欄を斜線で消しておいてください。

(16) 安全に配慮した医療器材の例

- ◎リストバンド類 (表 23) [バーコード照合システムは、表 37 をお願いいたします。]
入院患者識別バンド (例 ; IMG ID バンド)、セーフティバンド、母子用ネームバンド、リストバンド (例 : サトー リスプリ リストバンド、ホリスター リストバンド レギュラーサイズ)
- ◎シリンジ、チューブ、コネクター類 (表 24)
ディスポシリンジ 1cc 2.5cc 5cc 10cc 20cc 30cc 50cc ツ反用 各種、
カラー (色付き) シリンジ ピンク、緑、黄色、赤色、青色 各種
ロック付きシリンジ
カテーテルチップ シリンジ
点滴ルートクローズドシステム
- ◎針刺し事故防止用針 (表 25)
輸液セット セーフタッチ PSV 付、針刺し防止付き翼状針 (例 : ニプロ 針刺し防止付き翼状針)、シェアシールドサーフロー II (各サイズ)、スーパーキャス 23 (各サイズ)
- ◎グローブ [清潔手袋 (ゴム手袋 : ラテックス、ニトリル)] 類 (表 26)
プラスチックグローブ (例 : トーマ プラスティックグローブ)、ラテックスグローブ、ディスポグローブ、滅菌済みプラスチック手袋、手術用手袋、ディステックス ステライルグローブ、プロテグリティ マイクロ SHT
- ◎マスク、ゴーグル (アイプロテクション)、フェイスシールド類 (表 27~表 34)
 - 《一般病棟用》(表 27)
ディスポ (ディスポーザブル) マスク
 - 《手術時に使用》(表 28)
サージカルマスク (外科用)、アイシールド、フェイスシールド、ゴーグル KF マスク
 - 《感染症棟用》(表 29)
N95 マスク
 - 《エチレンオキシド滅菌作業用マスク》(表 30)
エチレンオキシド滅菌作業用マスク
 - 《その他のマスク類》(表 31)
酸素吸入用マスク (誤接続型タイプ)
- ◎ガウン、エプロン類 (不織布 3 層構造) (表 32)
プラスチック・エプロン、アイソレーション・ガウン、ウルトラサージカルガウン、袖付ディスポエプロン、アンギオドレーブ、スタンダード患者オイフ、

丸穴ドレープ、アスタウアンドガウン、滅菌ガウン、ウルトラガウン、アルファエプロン、感染対策用、アイソレーションガウン、手術用ディスポガウン、予防衣、アイソレーション用ディスポガウン、サージカルガウン（ブルーラインG3）、パーソナルプロテクションエプロン、ビニールエプロン

◎消毒・洗浄剤類（手洗い用）（表 33）

ステリッコット、シャボネット、サラヤンジェル、アルボーズハンドソープ、アクリノール液、チアミトール水、ネオアルベスト、Jヨード、ヒビスコール液 A、パワークイックW900ml アルカリ、イソジン、マスキン、エンドピュア、イソプロピルアルコール、病院用ハイター、オキシドール、ディスオーパ、消毒用アルコール綿単包品、ゲル状手指消毒アルコール、弱酸性ハンドソープ泡タイプ、クリーンキーパー、バイオテクト、病院用ハイター、超音波洗浄機用洗浄剤、イルソープピンク、消毒・殺菌石けん液（資材扱い分）、器具洗浄剤（手術室・検査室用）、潤滑剤、防錆剤、手指消毒剤（速乾性）、ユージェルS（手指用乾燥性アルコールジェル）、ピューラックス 600ml、コンクノール 500ml、20%ステリハイドL 500ml、消毒用エタノール 500ml、ヒビディール液 25ml、ネグミン液 250ml、エタプラスゲル 500ml、ヒビソフト 1000ml、ウェルパス、消毒用アルコール、ベンザルコニウム、ミルトン、単包エタノール含浸綿、サイデックスプラス 28 0.35%液、DR2000、エンドフレッシュAタイプ、アセサイド 6%消毒液、ティスオーパ消毒液 0.55%液

◎その他の安全器材（表 34）

マックスベルト、くるま椅子用あんしんベルト、ミトン

《医療安全に配慮した設備・機器にかかるコスト》

- (17) ②の表 35～表 37 への記入の際には、(13) のケースと同様に、事務部門の施設/用度係（あるいは固定資産台帳をもつ経理課）などの専門の担当者にご確認ください。
- (18) なお、(15) と同様、新たに採用した安全設備・機器で、従前の使用機器・設備について記入するものがないので、記入欄を斜線で消しておいてください。（但し、表 37 の「マット類、その他」については、従前のものを記載する欄がないので、斜線を引く必要はありません。）
- (19) 基本的に、次の医療用具等については、日本医療機材工業会による医療事故対策適合品マーク（下記を参照）が貼付された製品をもって、医療安全には配慮した製品と判断します。